



Roche ロシュグループ



がんではない。  
ひとりを見つめるのだ。

創造で、想像を超える。

## 中外製薬のご紹介

2020年3月12日（木）

中外製薬株式会社  
上席執行役員 最高財務責任者  
板垣 利明

# 本プレゼンテーションについて



本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び将来に関する見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。

# 本日の内容



## ■ 会社概要

- ロシュとの戦略的アライアンス
- 中外の創薬力
- 更なる成長に向けた取り組み
- 株式関連情報

# 会社概要



創業	1925年3月10日
売上高	6,862億円 (2019年期連結)
コア営業利益	2,249億円 (2019年期連結)
従業員数	7,393名 (2019年12月末)
本社	東京都中央区日本橋室町2-1-1
拠点	研究所 (国内3、シンガポール) 開発 (日・米・英・中国・台湾) 工場 (国内3、中国) 営業 (日・英・独・仏・中国・台湾)

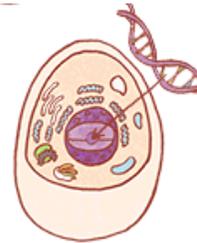
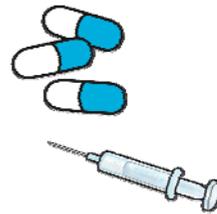
# 創業から大切にしてきたこと



創業時の「患者さんと人々の健康に貢献する」という意志を受け継ぎながら  
社会や患者さんの期待・要望の変化に応じてビジネスモデルを変革してきました



輸入商社



Roche ロシュ グループ

1925



関東大震災後の  
薬不足を  
憂いて創業

1960s



医療用医薬品  
へのシフト

1980s



バイオ医薬品  
への注力

2002



ロシュと戦略的  
アライアンス  
開始

# ミッションステートメント



## 存在意義 (Mission)

革新的な医薬品とサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、  
世界の医療と人々の健康に貢献します

## 価値観 (Core Values)

### 1. 患者中心

患者さん一人ひとりの健康と幸せを最優先に考えます

### 2. フロンティア精神

自らを磨き、新たな発想で、イノベーションを追求します

### 3. 誠実

常に誠実な行動で、社会の期待に応えます

## 目指す姿 (Envisioned Future)

ロシュとの協働のもと、独自のサイエンス力と技術力を核として、  
患者中心の高度で持続可能な医療を実現する、  
ヘルスケア産業のトピックイノベーターとなります

# 製商品売上高の構成

青字：抗体医薬品



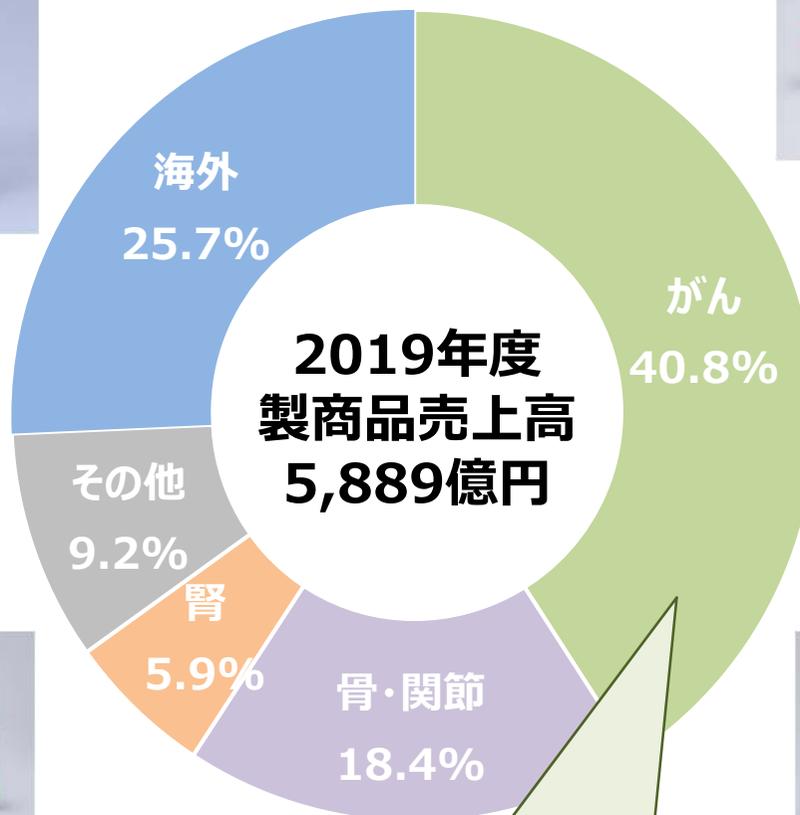
**その他領域**  
ヘムライブラ タミフル  
セルセプト



**がん領域**  
アバスチン アレセンサ  
ハーセプチン パージェタ  
カドサイラ リツキサン  
テセントリク ゼローダ  
ロズリートレク



**腎領域**  
ミルセラ オキサロール



**国内がん領域でトップシェア 16.4%\***



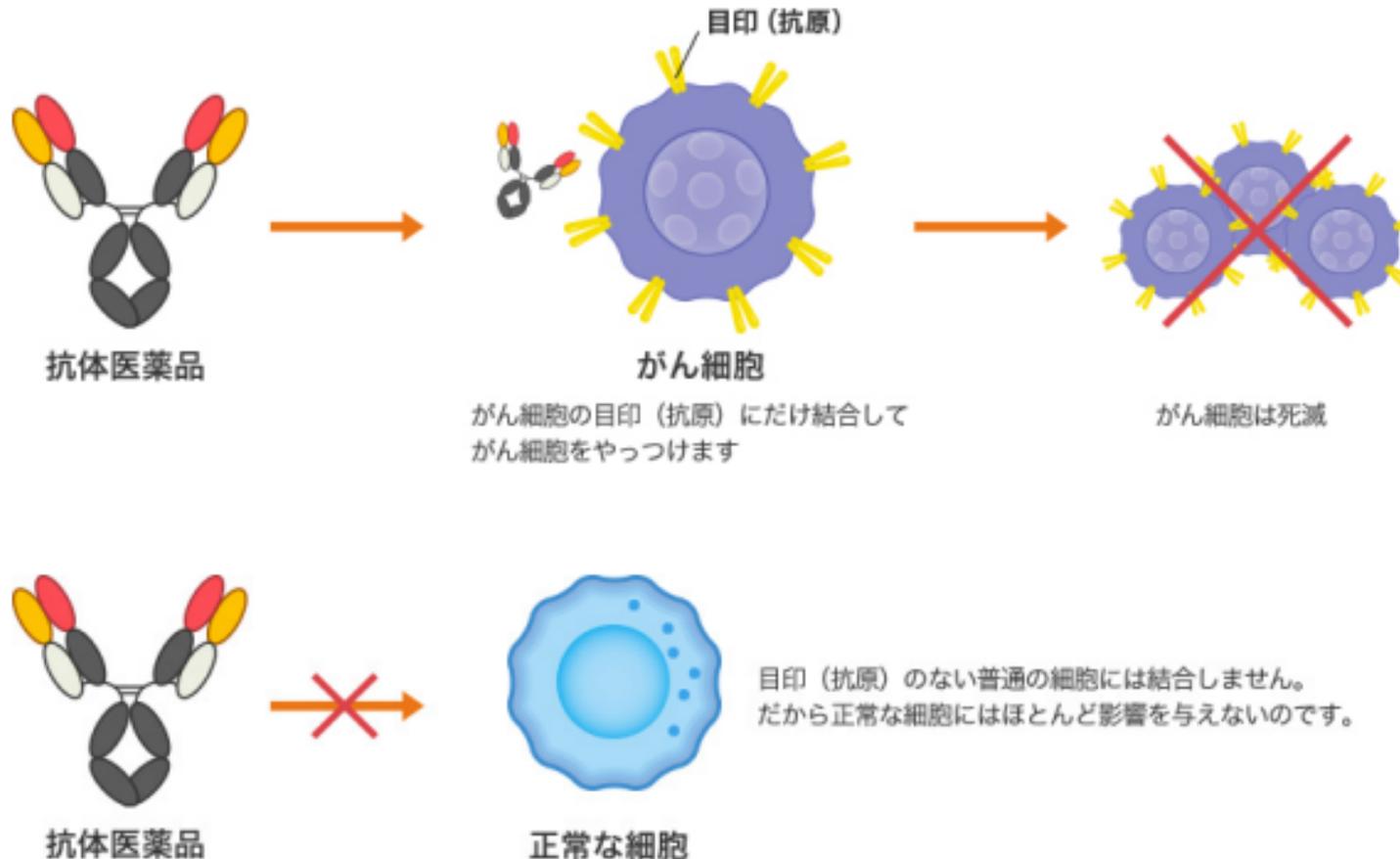
**骨・関節領域**  
アクテムラ スベニール  
エディロール ボンビバ

\*Copyright © 2019 IQVIA.  
出典：IQVIA 医薬品市場統計2018年12月MATをもとに作成 無断転載禁止  
市場の定義は中外製薬による

# 抗体医薬品とは

病原菌などの**異物（抗原）**が体内に入ってきたときに、その**異物と結合して無毒化させようとする物質を抗体**といいます。この作用は「**抗原抗体反応**」と呼ばれ、人間が持っている免疫機能と言われるものです。

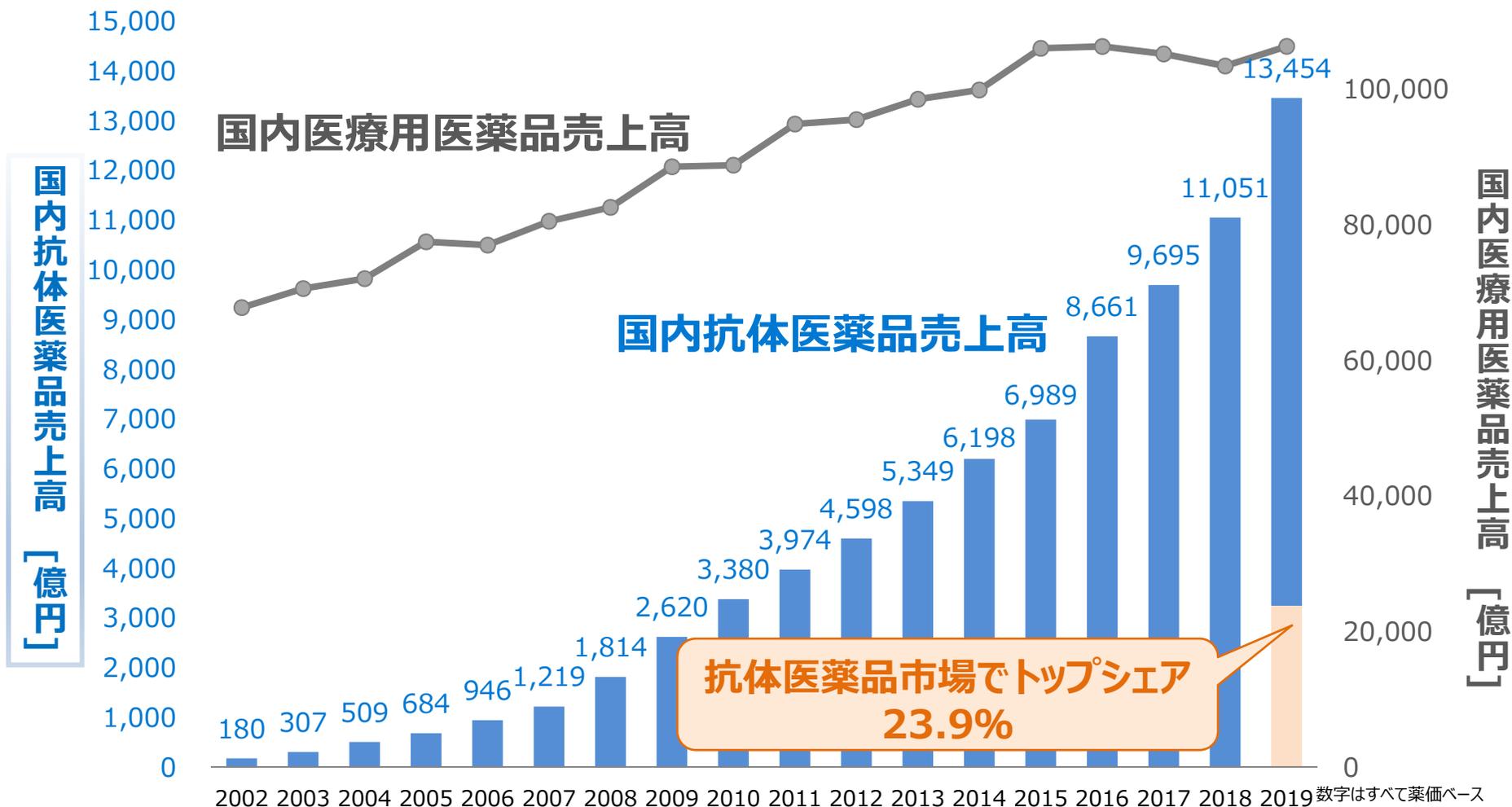
抗体医薬品は、この**抗原抗体反応を人工的に利用したくすり**です。



# 抗体医薬品の国内売上高推移



医薬品市場の成長が鈍化するなかで、抗体医薬品市場は飛躍的に成長しています



# 本日の内容



- 会社概要

- **ロシュとの戦略的アライアンス**

- 中外の創薬力

- 更なる成長に向けた取り組み

- 株式関連情報

# ロシュとは



医薬品売上、診断薬事業 で**世界一位**のグローバル製薬企業グループです



設立	1896年10月
売上高	7兆1,600億円*
営業利益	2兆5,200億円*
従業員数	97,735人
本社	スイス、バーゼル
拠点の数	約150カ国



\*1CHF=112.3円で算出

# 戦略的アライアンスの意義



## ネットワーク経営によるWIN-WINの提携



### ロシュのWIN

- 中外を**連結対象**（株を過半数保有）
- 日本におけるロシュの**プレゼンス強化**  
（日本ロシュは、当時40位前後）
- 中外品の世界（日韓台を除く）での**独占的販売権**の獲得



### 中外のWIN

- 中外製薬として**上場維持**
- **自主経営**を維持
- ロシュ品の日本での**独占的販売権**の獲得
- ロシュの開発・販売網を通じた**グローバル市場へアクセス**
- **R&Dへの経営資源集中**

# ガバナンス（取締役会）



2020年3月12日本日時点



永山 治  
会長



上野 幹夫  
副会長



小坂 達朗  
社長

中外から3名  
(いずれも代表取締役)



池田 康夫



奥 正之



一丸 陽一郎

社外から3名



クリストフ・フランツ



ウィリアム・E・アンダーソン



ジェームス・E・サブリイ

ロシュから3名

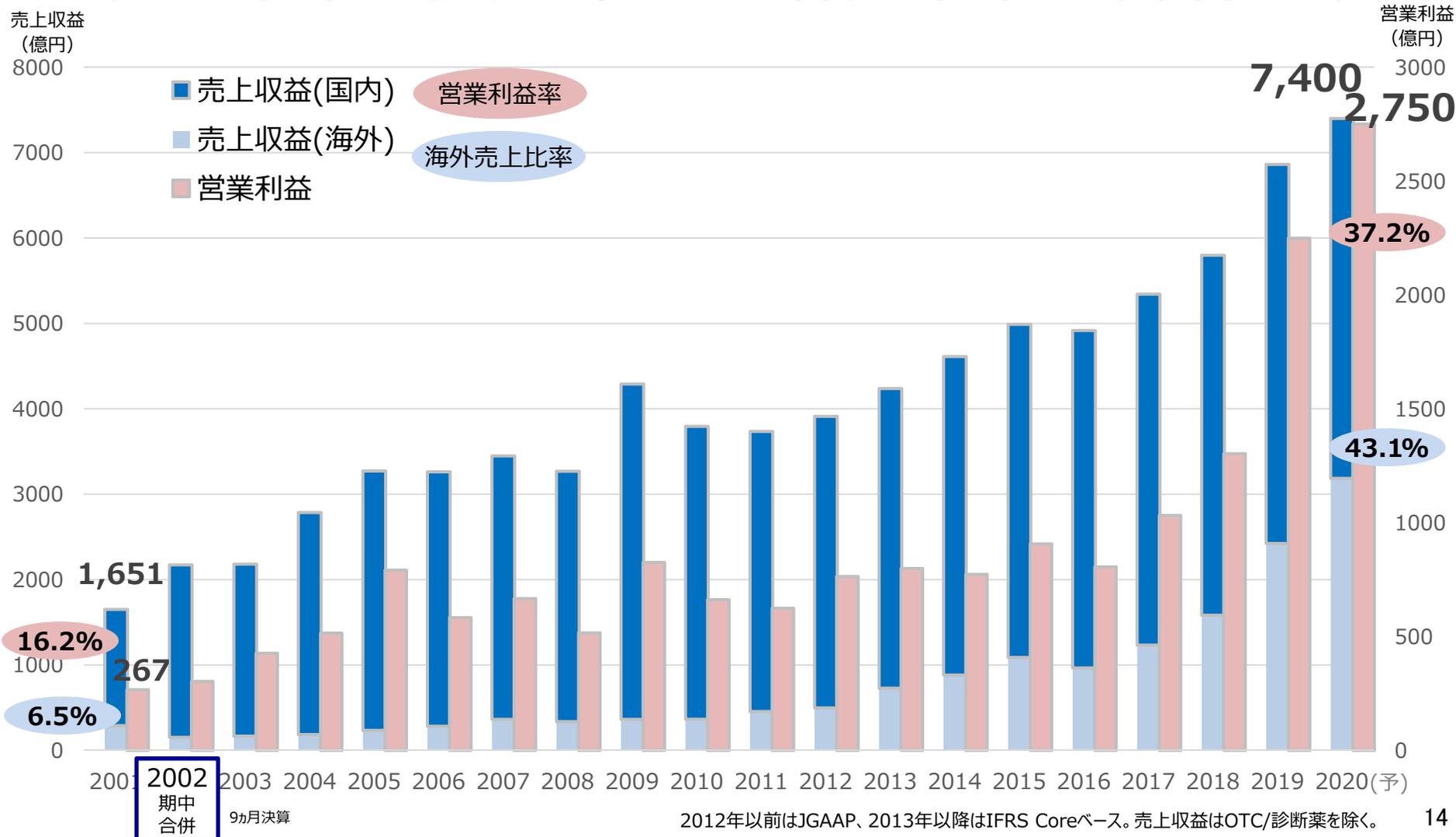
# 中外-ロシュのビジネスモデル



- ロシュ品を国内で独占的に販売できます。この安定的な収益基盤により、当社は、革新性の高い独自技術や創薬への集中投資が可能となります。さらに、自社創製品をロシュに導出することで、グローバル市場に展開することができて、成長を牽引する収益基盤となります。
- ロシュにとっても、革新性の高い研究に特化した中外品をグローバル市場で販売することができます。

# 戦略的アライアンス以降の成長

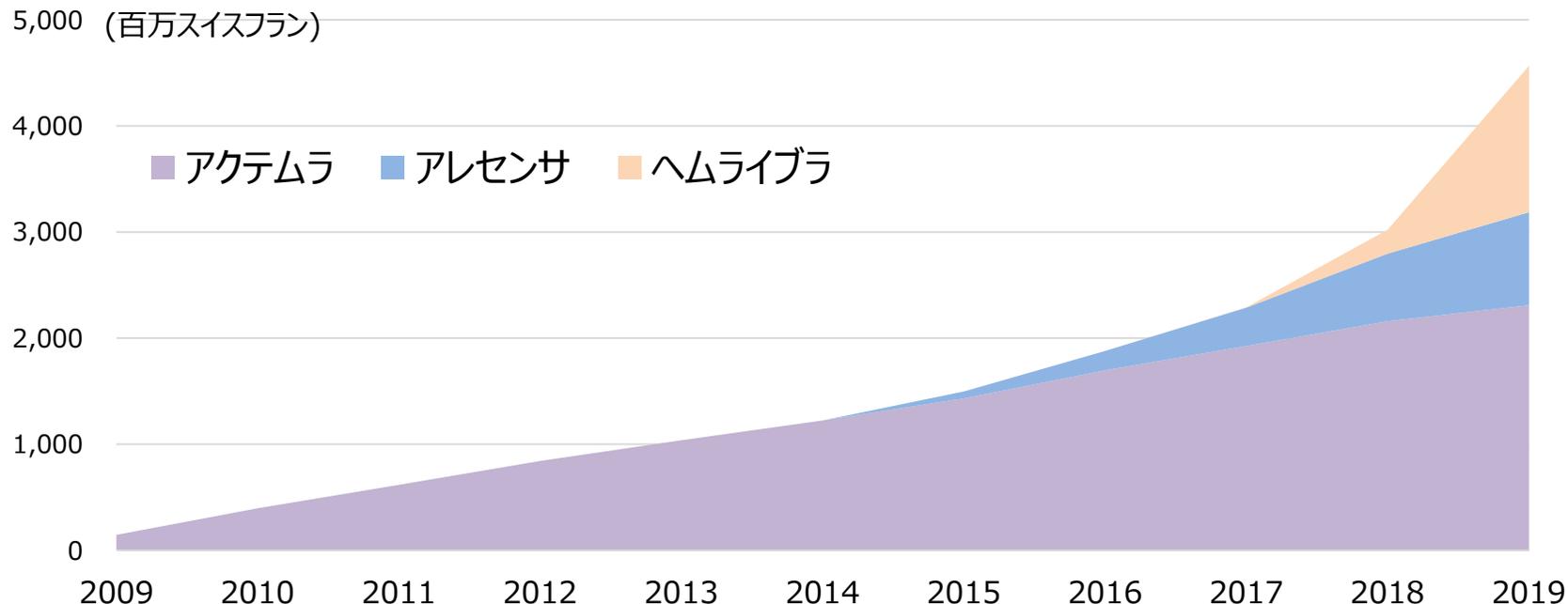
**18年間で、売上は約4.5倍・営業利益は10倍強・営業利益率は約2.3倍  
海外売上比率は約6.5倍、売上・利益の過去最高を4年連続で更新する予定です**



# 自社創薬品の世界売上高



3品目の全世界売上の年間合計は、5,000億円を突破しました



アクテムラ®



アレセンサ®



ヘムライブラ®



- 日本初の抗体医薬品
- 適応症：関節リウマチなど
- 全世界で売上2,000億円以上
- 当社が推進する個別化医療の代表例
- 適応症：ALK陽性 肺がん
- 1次治療の承認取得（日/米/欧）
- 独自の抗体技術を活用
- 適応症：血友病A
- 全世界で売上1,000億以上

# 本日の内容



- 会社概要
- ロシュとの戦略的アライアンス
- **中外の創薬力**
- 更なる成長に向けた取り組み
- 株式関連情報

# 豊富な開発パイプライン

## がん

-  **AF802 (RG7853)**  
非小細胞肺癌 (アジュバント)
-  **GC33**  
肝細胞がん
-  **ERY97**  
固形がん

29

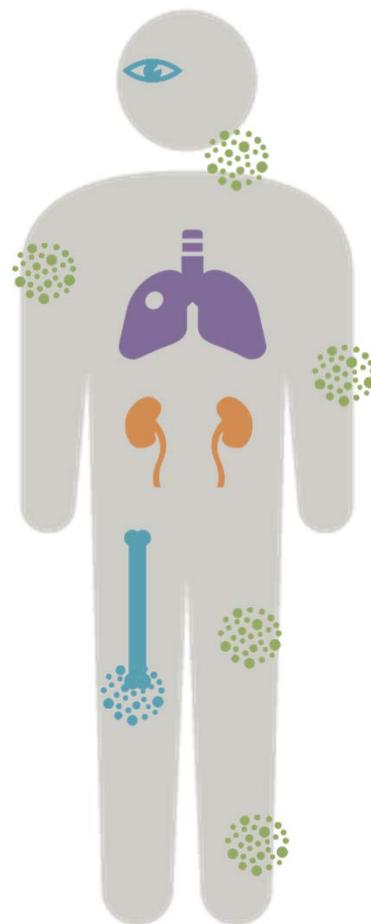
プロジェクト  
自社品：3プロジェクト

## 骨・関節

-  **ED-71**  
骨粗鬆症 [中国]
-  **NRD101**  
変形性膝関節症/  
肩関節炎 [中国]

2

プロジェクト  
自社品：2プロジェクト



## 腎

-  **EOS789**  
高リン血症

1

プロジェクト  
自社品：1プロジェクト

## 神経疾患、その他

-  **SA237 (RG6168)**  
視神経脊髄炎スペクトラム障害
-  **SKY59 (RG6107)**  
発作性夜間ヘモグロビン尿症
-  **GYM329 (RG6237)**  
神経筋疾患
-  **PCO371**  
副甲状腺機能低下症
-  **AMY109**  
子宮内膜症
-  **NXT007**  
血友病A

17

プロジェクト  
自社品：6プロジェクト

2020年1月30日現在

# 次のグローバル候補品



	サトラリズマブ	ネモリズマブ
予定する 適応症	視神経脊髄炎スペクトラム障害	① アトピー性皮膚炎 ② 結節性痒疹
開発状況	2019年申請済み（日米欧）	① 第Ⅲ相（海外/国内） ※国内は今年申請予定 ② 第Ⅱ相（海外）
特徴 	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社<b>独自の抗体技術</b>によって創製（リサイクリング抗体）</li> <li>米国にて<b>画期的薬剤</b>に指定</li> <li>高い利便性（4週1回投与、皮下注）</li> <li><b>ロシュに導出済み</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>新規作用機序</b>の抗体医薬品</li> <li>米国にて<b>画期的薬剤</b>に指定</li> <li>かゆみ及び皮膚炎に効果を示す</li> <li>皮膚科領域を専門とするパートナー（海外：<b>ガルデルマ</b>、国内：<b>マルホ</b>）<b>に導出済み</b></li> </ul>

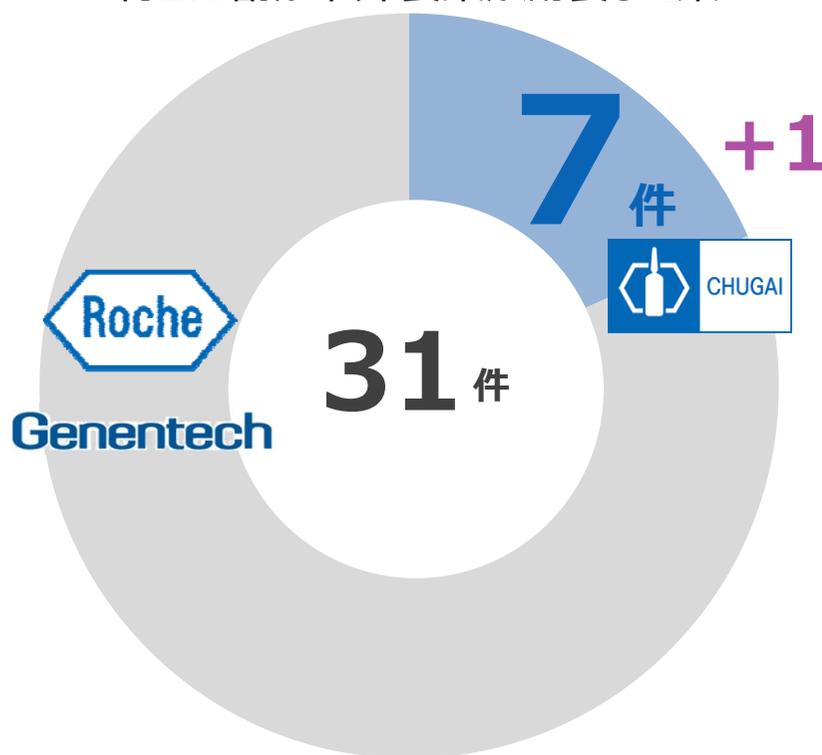


# 革新的医薬品の創製

当社が創製した5品目/8プロジェクトが、米国食品医薬品局（FDA）より  
ブレイクスルーセラピー※に指定されました

※ブレイクスルーセラピー指定制度：革新的な治療薬の開発・審査の促進を目的にしたFDAの制度

ロシュグループ製品で指定されたうち  
約2.5割が中外製薬が創製した薬



年度	品目	適応症
2019	ネモリズムブ	結節性痒疹 (ガルデルマ社にて開発中)
2018	サトラリズムブ	視神経脊髄炎スペクトラム
	ヘムライブラ	血友病A (非インヒター)
2016	アクテムラ	巨細胞性動脈炎
	アレセンサ	ALK陽性非小細胞肺癌1次治療
2015	アクテムラ	全身性強皮症
	ヘムライブラ	血友病A (インヒター)
2013	アレセンサ	ALK陽性非小細胞肺癌2次治療

# 創薬力の源泉



- 革新的なシーズを獲得できる**基礎研究ネットワーク**を構築しています
- 疾患ターゲットへの最適なアプローチを可能にする**モダリティ**（低分子、抗体、中分子の**創薬技術**）を保有しています

疾患原因分子  
の深い理解

適切な創薬  
ターゲットの選択

革新的医薬品  
創製技術の開発

次世代(高機能化)抗体

低分子創薬技術

中分子創薬技術

技術とターゲットの融合

アカデミア

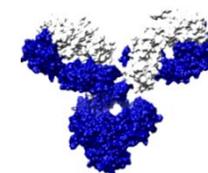
研究  
ネットワーク

共同研究

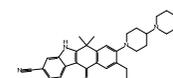
サテライト  
ラボ



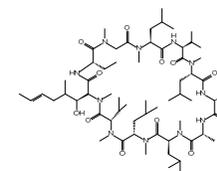
アンメットメディカルニーズへ対応



次世代抗体



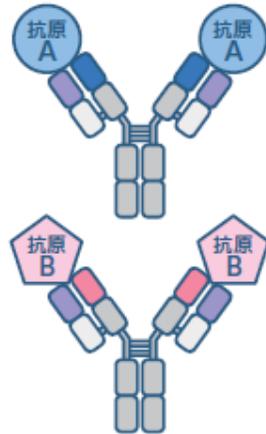
低分子



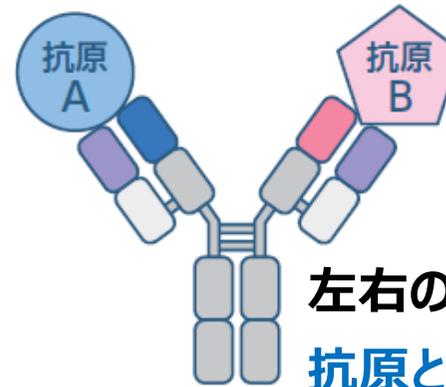
中分子

# バイスペシフィック抗体とヘムライブラ

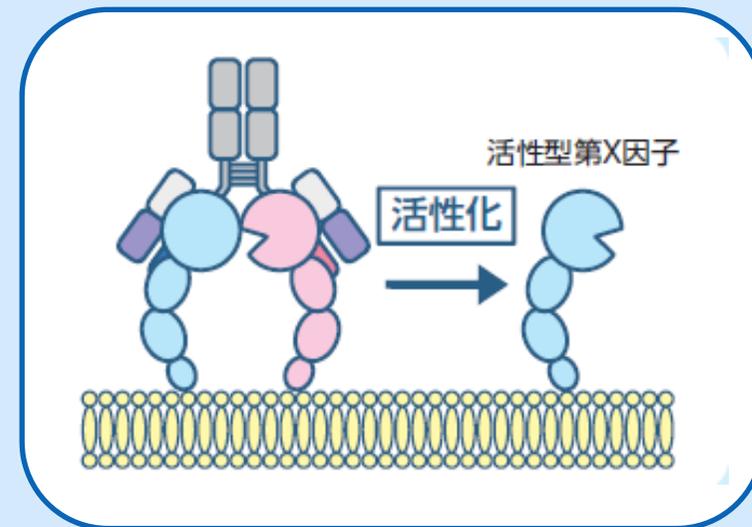
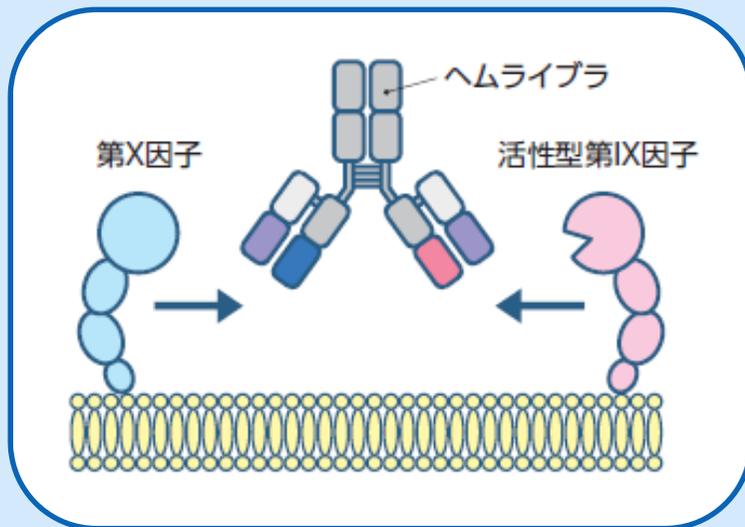
通常の抗体の構造



バイスペシフィック抗体



左右の腕が、異なる  
抗原と結合する



ヘムライブラが、第IX因子と第X因子をくっ付けて、血液を凝固させる。

# 抗体医薬への投資



## 抗体研究の拡充 <Chugai Pharmabody Research シンガポール>

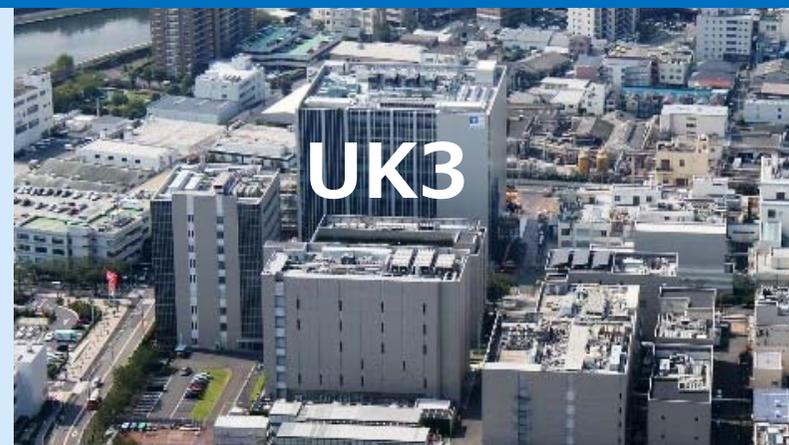
2012年～2026年に600億円超の投資計画  
研究者は多国籍で100人規模  
更なる革新的抗体技術開発  
次世代新規抗体医薬創製



Biopolis Synapse

## 抗体製造の増強 <UK-3 東京都北区 浮間工場>

371億円の投資、2019年竣工済み  
6,000LタンクX6基ライン  
多品目に対応、培養と精製を柔軟に組合せ  
他の製造設備との効率的な製造体制



UK3

# 本日の内容

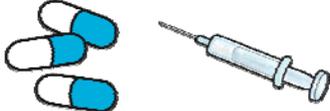


- 会社概要
- ロシュとの戦略的アライアンス
- 中外の創薬力
- **更なる成長に向けた取り組み**
- 株式関連情報

# 新たな創薬モダリティ、中分子への展開



- 低分子医薬品と抗体医薬品の利点を兼ね備えるのが**中分子医薬品**です
- これまで狙うことが難しいとされた標的にもアプローチが可能とされています

	低分子	中分子	抗体（高分子）
分子量	500以下	500~2,000	10,000以上
投与経路	経口／注射 	経口／注射 	注射 
標的特異性			

# 更なる成長に向けての投資



成長の布石として、**研究・生産機能への投資**を積極的に進めていきます

## 低・中分子原薬製造棟 <静岡県藤枝市>

182億円の投資、2022年竣工予定

当社初の中分子治験原薬の製造機能、  
低分子治験原薬の供給能力増強  
高薬理活性化化合物の高度な封じ込め設備を  
採用し、環境へ配慮



## 中外ライフサイエンスパーク横浜 <神奈川県横浜市>

1,273億円の投資、2022年竣工予定

グローバルで最高品質の革新的新薬を創出  
するための中核的研究拠点の設立  
近隣との調和を図ったデザインとし、省エネ  
ルギー対策や排出CO<sub>2</sub>削減など、環境へ配慮



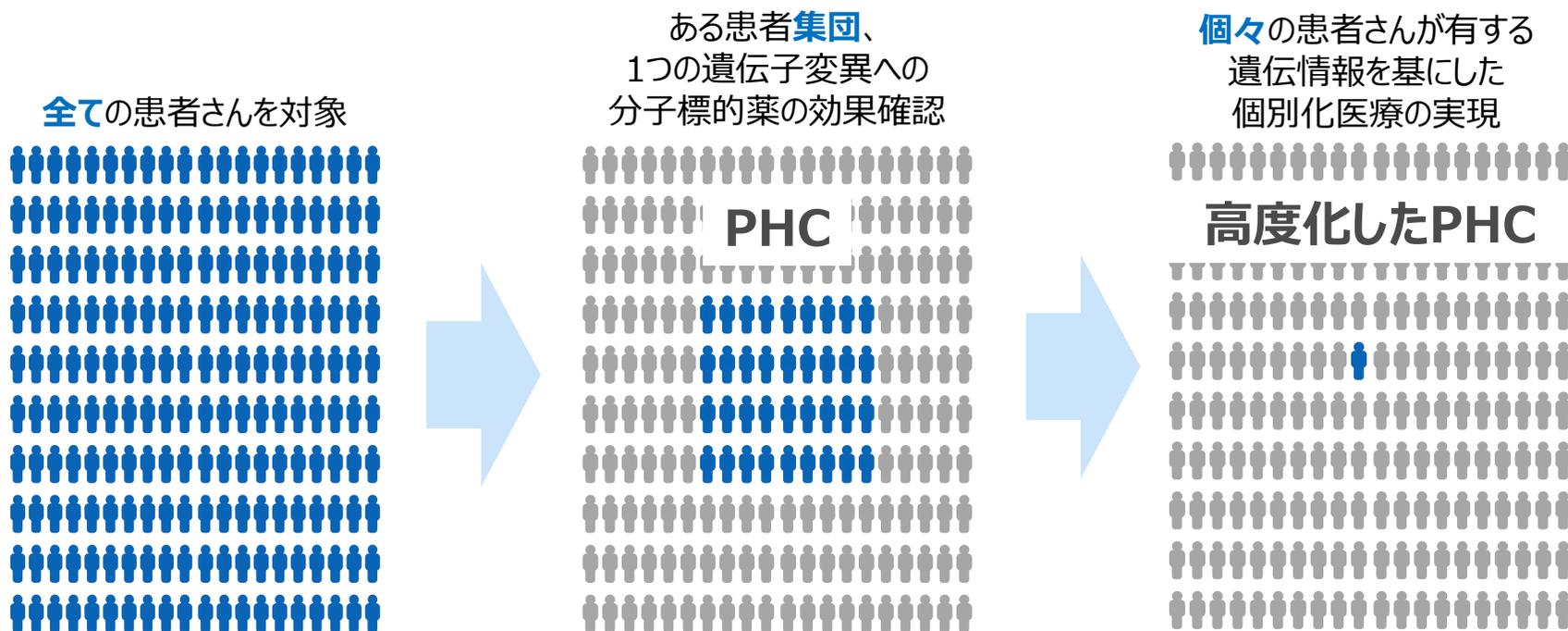
# 個別化医療の推進



「FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル」  
固形がん組織により**324**のがん関連遺伝子の変異状況を**1回**で測定可能です

- 包括的がん遺伝子プロファイリングにより、最適治療を提案できます
- がん患者さんの生存延長に寄与します

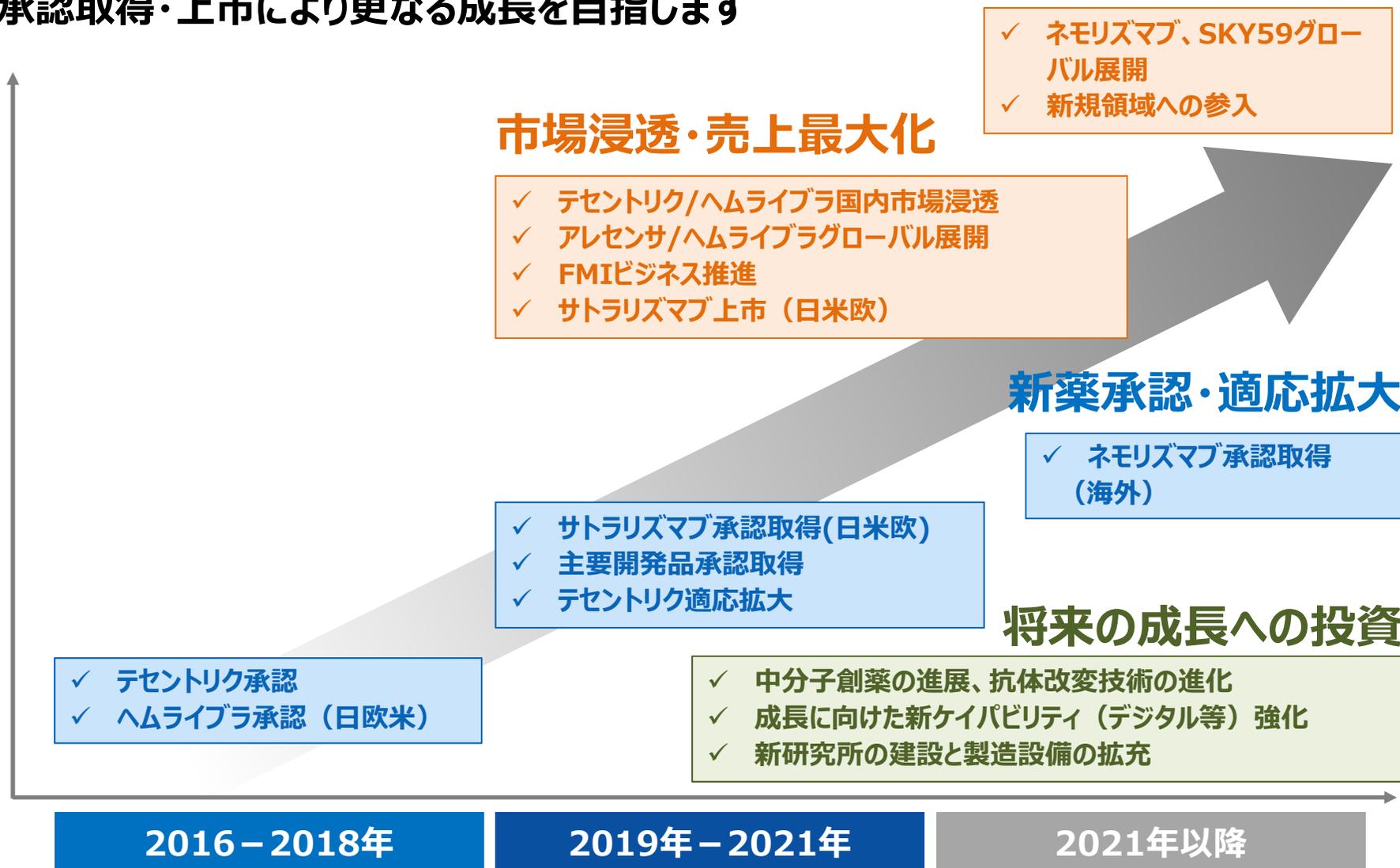
## がんゲノム医療の標準化



個別化医療 (PHC: Personalised Health Care)

# 今後の成長見通し

グローバル及び国内での成長ドライバーの市場浸透・拡大に加え、サトラリズマブの承認取得・上市により更なる成長を目指します



# 2020年度の業績予想

国内は苦戦するも、自社品の輸出・ロイヤルティ収入等で**増収増益**  
過去最高を4年連測で更新する計画

【億円】	2019年 実績	2020年 予想	対前同	
<b>売上収益</b>	<b>6,862</b>	<b>7,400</b>	<b>+538</b>	<b>+7.8%</b>
製商品売上高	5,889	5,800	△89	△1.5%
国内	4,376	4,116	△260	△5.9%
海外	1,513	1,684	+171	+11.3%
ロイヤルティ等収入及び その他の営業収入 (ROOI)	973	1600	+627	+64.4%
<b>Core営業利益</b>	<b>2,249</b>	<b>2,750</b>	<b>+501</b>	<b>+22.3%</b>
<b>Core EPS (円)</b>	<b>305.80</b>	<b>122.00</b>	-	-
		* 366.00	+60.20	+19.7%

\* 2020年7月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行う。株式分割を考慮しない場合の数値を記載。

# 2021年の計量目標



- 将来への投資を積極的に行いつつ、成長モメンタムを維持し、**持続的な利益成長・企業価値拡大を実現してまいります**
- 前期実績と今期見通しを考慮した結果、計量目標を“High single digit (7～9%)”から**“30%前後”に引き上げました**

2018年～2021年の  
Core EPS\* CAGR  
(1株当たりコア当期利益の  
年平均成長率)

30%前後 \*\*

\* 3年間、一定為替レートベース

\*\* 2020年7月1日を効力発生日として予定している株式分割を考慮しない場合で算出

# 本日の内容



- 会社概要
  - ロシュとの戦略的アライアンス
  - 中外の創薬力
  - 更なる成長に向けた取り組み
- 株式関連情報

# 時価総額トップ<sup>o</sup>30 <東証一部、全業種>

(単位：兆円)



2018年12月末

1	トヨタ自動車
2	NTTドコモ
3	NTT
4	ソフトバンクグループ
5	三菱UFJFG
6	キーエンス
7	ソニー
8	KDDI
9	ソフトバンク
10	ファーストリテイリング
11	日本郵政
12	ゆうちょ銀行
13	本田技研工業
14	日本たばこ産業
15	三井住友FG
16	三菱商事
17	JR東海
18	リクルートHD
19	みずほFG
20	セブン&アイHD
21	任天堂
22	オリエンタルランド
23	キヤノン
24	花王
25	デンソー
26	東京海上HD
27	日本電産
28	JR東日本
29	信越化学工業
30	中外製薬

2019年12月末

1	トヨタ自動車	25.2
2	NTT	10.8
3	NTTドコモ	10.1
4	ソフトバンクグループ	9.9
5	ソニー	9.4
6	キーエンス	9.4
7	三菱UFJFG	8.1
8	KDDI	7.7
9	ソフトバンク	7.0
10	リクルートHD	7.0
11	ファーストリテイリング	6.9
12	武田薬品工業	6.8
13	任天堂	5.8
14	中外製薬	5.6
15	本田技研工業	5.6
16	三井住友FG	5.5
17	オリエンタルランド	5.4
18	第一三共	5.1
19	信越化学工業	5.0
20	日本たばこ産業	4.9
21	ゆうちょ銀行	4.7
22	日本郵政	4.6
23	三菱商事	4.6
24	村田製作所	4.6
25	JR東海	4.5
26	ダイキン工業	4.5
27	日立製作所	4.5
28	日本電産	4.5
29	花王	4.4
30	東京海上HD	4.3

2020年2月末

1	トヨタ自動車	23.3
2	ソフトバンクグループ	10.5
3	NTT	9.9
4	NTTドコモ	9.8
5	ソニー	8.4
6	キーエンス	8.4
7	三菱UFJFG	7.2
8	KDDI	7.2
9	ソフトバンク	6.8
10	中外製薬	6.6
11	リクルートHD	6.4
12	武田薬品工業	5.9
13	ファーストリテイリング	5.7
14	本田技研工業	5.1
15	信越化学工業	5.1
16	三井住友FG	4.8
17	任天堂	4.8
18	第一三共	4.7
19	オリエンタルランド	4.5
20	ゆうちょ銀行	4.3
21	ダイキン工業	4.3
22	日本たばこ産業	4.3
23	三菱商事	4.3
24	日本郵政	4.2
25	東京海上HD	4.1
26	伊藤忠商事	3.9
27	村田製作所	3.9
28	日本電産	3.8
29	花王	3.8
30	みずほFG	3.7

# ESG投資面からも高い評価



GPIFが採用している全ての  
ESGインデックスに組み入れられています

世界的な社会的責任投資指数に  
継続的に選定されています



2019 Constituent  
MSCI ジャパンESG  
セレクト・リーダーズ指数



FTSE4Good



2019 Constituent  
MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom  
Japan



MEMBER OF  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
In Collaboration with RobecoSAM

社会責任投資指数である  
「DJSI Asia Pacific Index」の  
構成銘柄に5回目の選定

# 社会的課題解決への貢献



経済的な成長と共に、**環境・社会システム**などへの課題解決に貢献することが、  
社会全体の持続性向上に寄与し、当社のイノベーションへの挑戦も支え、  
**長期的な発展を支える基盤**になると確信しています

$$\text{企業価値} = \text{経済価値} + \text{社会的価値}$$

疾患啓発  
活動の推進



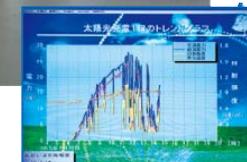
社会貢献  
活動



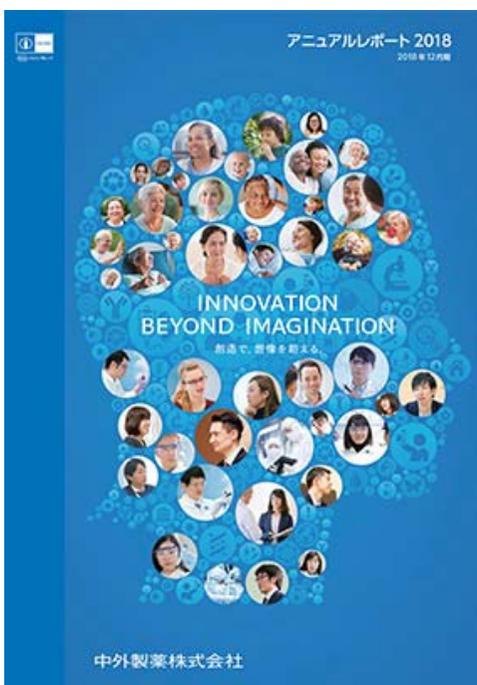
グローバルヘルス  
への貢献



環境保全  
活動の充実



# 統合報告書（アニュアルレポート）



## 2019年日経アニュアルレポートアワード 準グランプリ

133社の応募中  
グランプリ 1社、準グランプリ 3社、特別賞 2社、優秀賞 14社

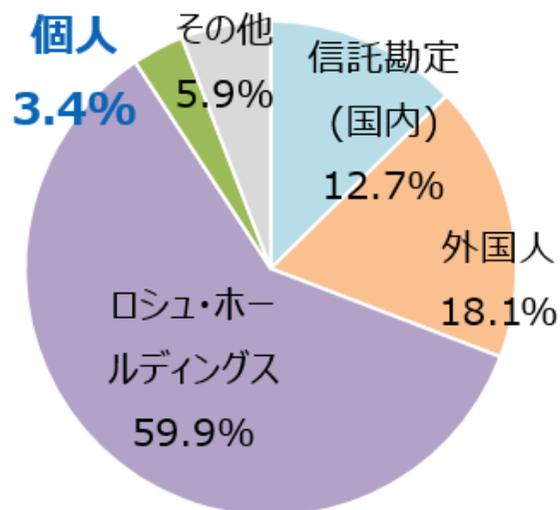
### 講評：コア要素の各記述の質が極めて高い

統合報告書のコア要素であるビジョン、ビジネスモデル、戦略、リスク機会、実績、ガバナンス、サステナビリティ、新中期経営計画策定の経緯など、各記述の質が極めて高い。支配株主との関係性と株主の権利・平等性の確保についての記載も高評価。

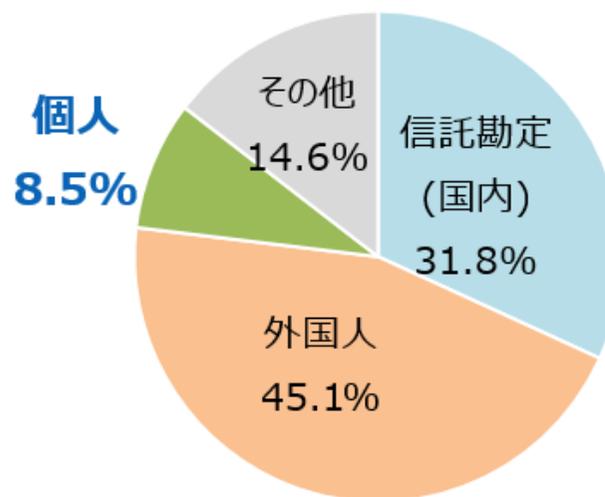
第7回WICIジャパン統合報告優良企業表彰においても「統合報告優秀企業賞」を受賞しており、当社として初めてのダブル受賞となりました。

# 株主構成 (2019年12月末)

## 当社株主構成 (ロシュを含む)

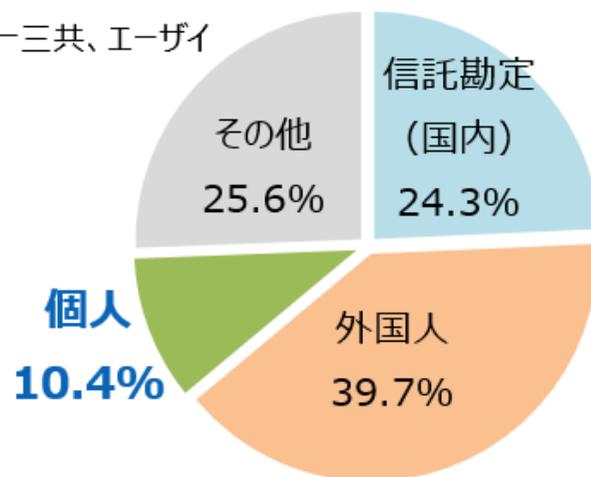


## 当社株主構成 (ロシュを除く)



## 医薬品大手4社\*の平均株主構成

\* 武田、アステラス、第一三共、エーザイ



信託勘定：機関投資家  
 個人：社員持株会を含む  
 その他：自己株式、証券会社、銀行、損保、  
 信託勘定退職給付口等

# 株式分割



## ■ 目的

当社株式の**投資単位あたりの金額を引き下げる**ことによって、株式の**流動性を高める**とともに、**投資家層の拡大**を図りたい

## ■ 概要

**1株につき3株**  
の割合をもって分割

発行済 株式総数	株式分割前	559,685,889 株
	株式分割後	1,679,057,667 株
基準日公告日	2020年6月15日（月）	
基準日	2020年6月30日（火）	
<b>効力発生日</b>	<b>2020年7月1日（水）</b>	

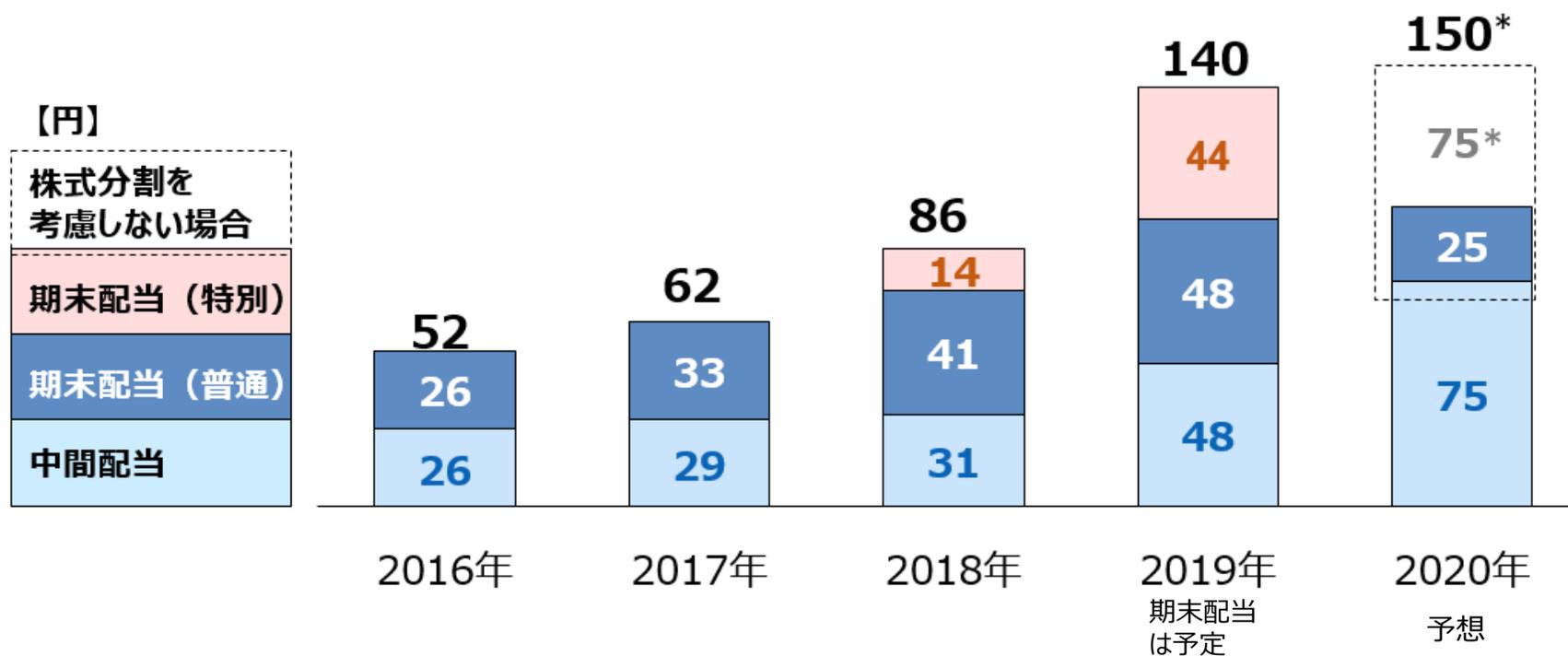
# 株式の基本情報

■ 単元株：100株    ■ 証券コード：4519（東証1部）

■ 株主優待：なし

■ 利益配分に関する基本方針

戦略的な投資資金需要や業績見通しを勘案した上で、Core EPS対比  
**平均45%の配当性向を目処に、安定的な配当**を行うことを目標とします



Core配当性向	5年平均	49.2%	48.4%	48.6%	47.4%	45.0%
	単年度	50.7%	44.7%	48.7%	45.8%	41.0%

\* 2020年7月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行う。株式分割を考慮しない場合の数値を記載。

# 本日のまとめ



## 中外製薬は

- ✓ スイスに本拠を置く  
ロシュグループのメンバーで



- ✓ 一般用医薬品等を売却し、  
医療用医薬品に集中しており



- ✓ がん領域および抗体医薬品の分野で  
トップシェアを有し



- ✓ ヘルスケア産業のトップイノベーターを  
目指しています。



# ウェブサイトのご案内

## 株主・投資家向け情報

<https://www.chugai-pharm.co.jp/ir>



## ■ バイオのはなし



## ■ 株主総会

ウェブサイトで動画を配信します



# お問い合わせ先：

**中外製薬 広報IR部**  
**インベスターリレーションズグループ**

**電話：03-3273-0554**

**Eメール：ir@chugai-pharm.co.jp**

**担当：笹井、櫻井、島村、吉村**